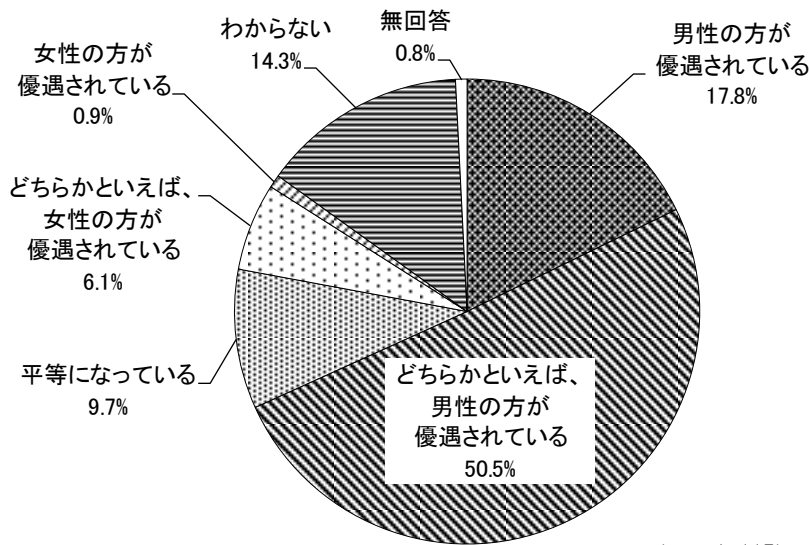


7 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

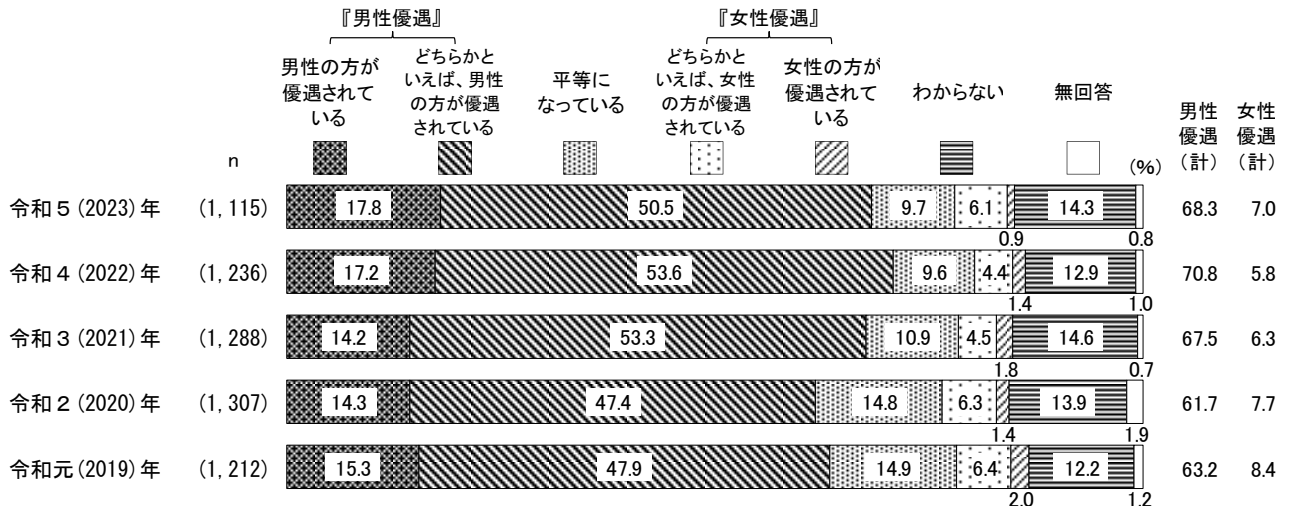
問21 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

1 男性の方が優遇されている	17.8%	5 女性の方が優遇されている	0.9%
2 どちらかといえば、男性の方が優遇されている	50.5	6 わからない	14.3
3 平等になっている	9.7	(無回答)	0.8
4 どちらかといえば、女性の方が優遇されている	6.1		



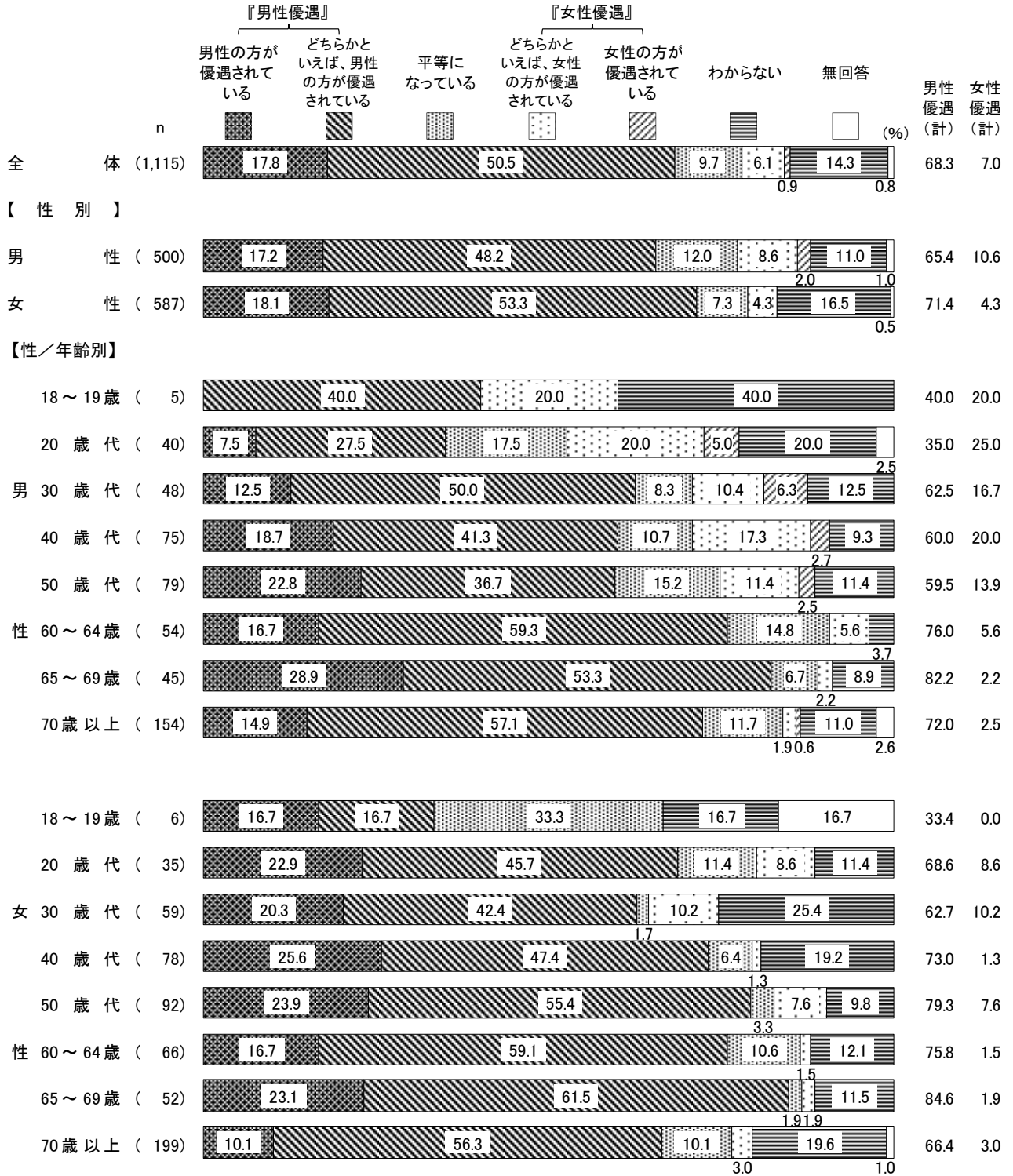
(n=1,115)

全体でみると、「男性の方が優遇されている」(17.8%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(50.5%)の2つを合わせた『男性優遇』(68.3%)が7割近くとなっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(6.1%)と「女性の方が優遇されている」(0.9%)の2つを合わせた『女性優遇』(7.0%)が1割未満となっている。また、「平等になっている」(9.7%)が1割弱となっている。



過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が前回(令和4(2022)年)より2.5ポイント減少している。

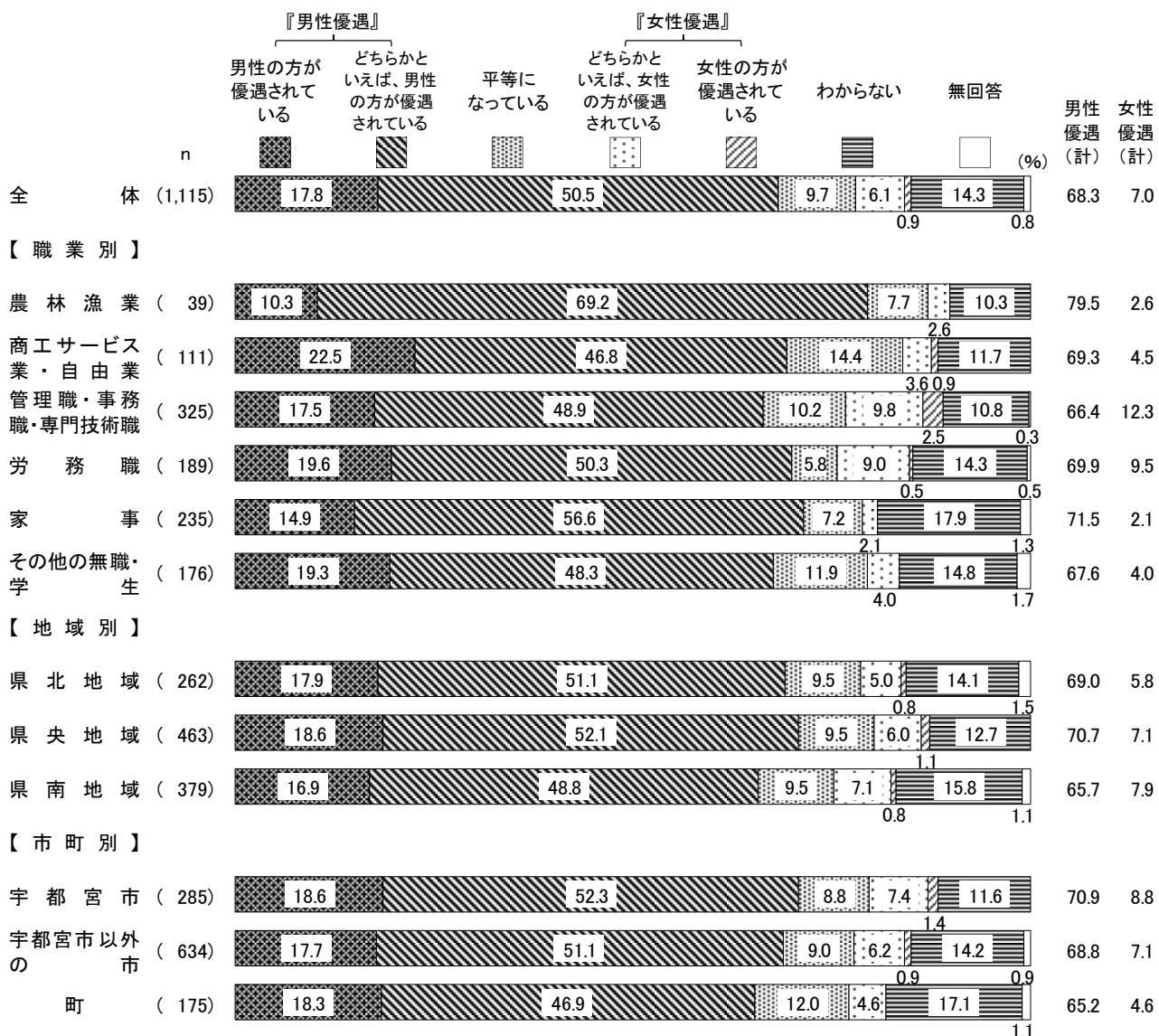
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(71.4%)が〈男性〉(65.4%)より6.0ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(10.6%)が〈女性〉(4.3%)より6.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性65～69歳〉が84.6%、〈男性65～69歳〉が82.2%、〈女性50歳代〉が79.3%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性20歳代〉が25.0%、〈男性40歳代〉が20.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



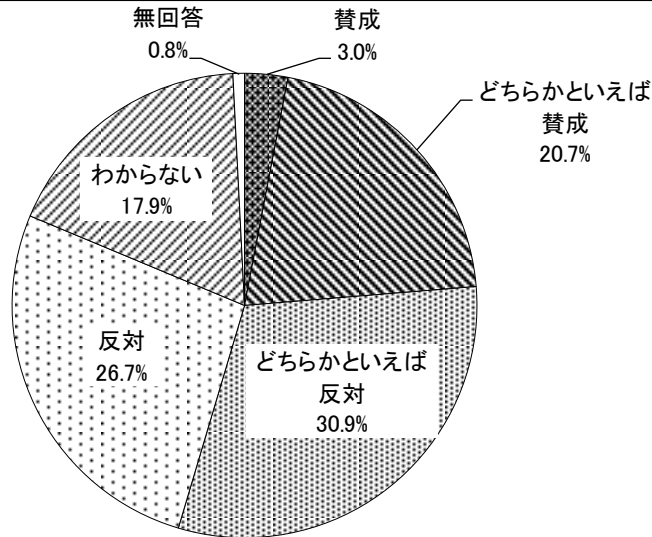
職業別で見ると、『男性優遇』では〈農林漁業〉が79.5%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が12.3%と高くなっている。

地域別・市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

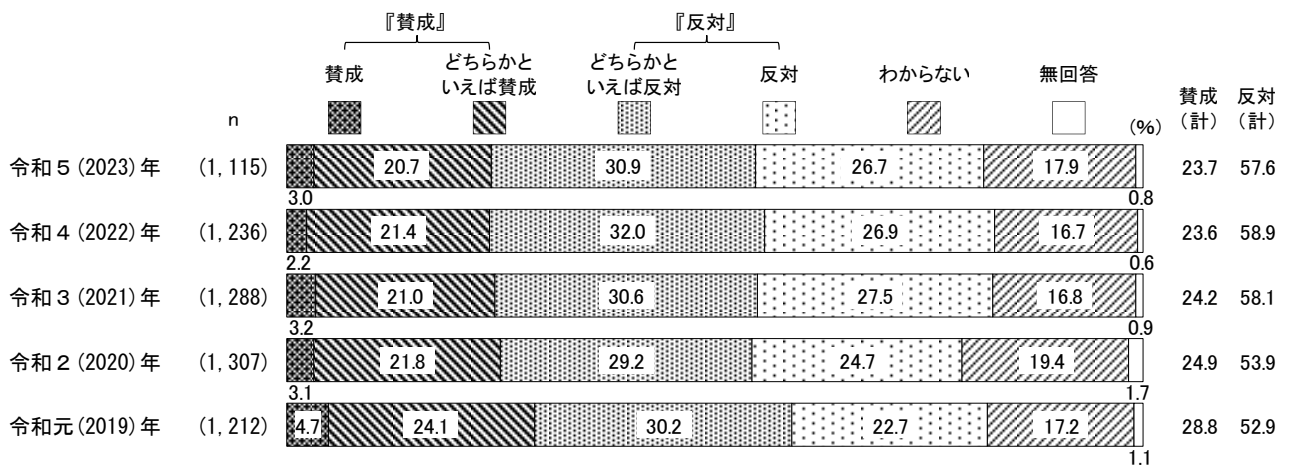
(2) 固定的な性別役割分担意識

問22 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

1 賛成	3.0%	4 反対	26.7%
2 どちらかといえば賛成	20.7	5 わからない	17.9
3 どちらかといえば反対	30.9	(無回答)	0.8

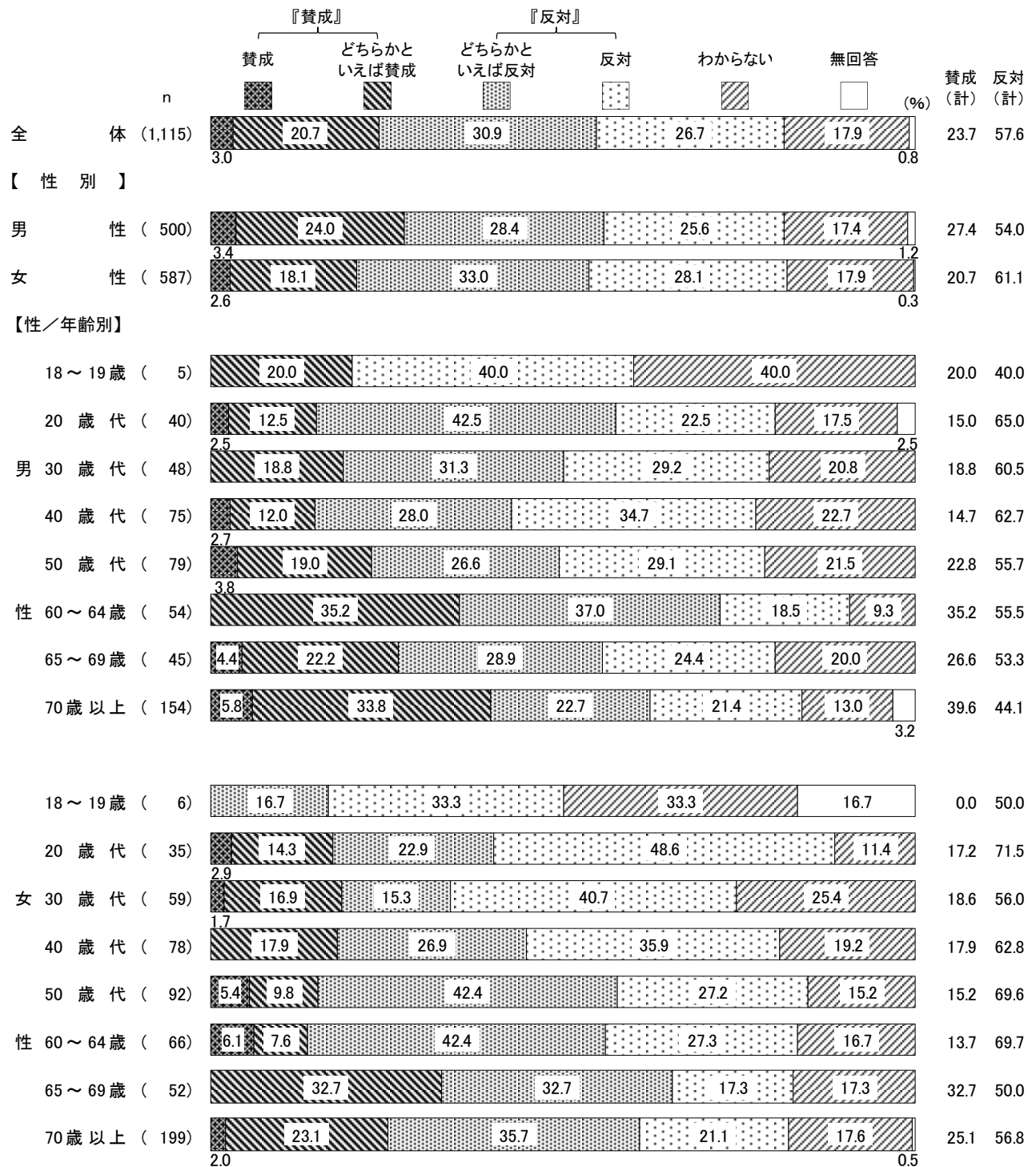


全体で見ると、「賛成」(3.0%)と「どちらかといえば賛成」(20.7%)の2つを合わせた『賛成』(23.7%)が2割台半ば近くとなっている。一方、「どちらかといえば反対」(30.9%)と「反対」(26.7%)の2つを合わせた『反対』(57.6%)が5割台半ばを超えている。



過去の調査結果と比較すると、前回(令和4(2022)年)と大きな傾向の違いはみられない。

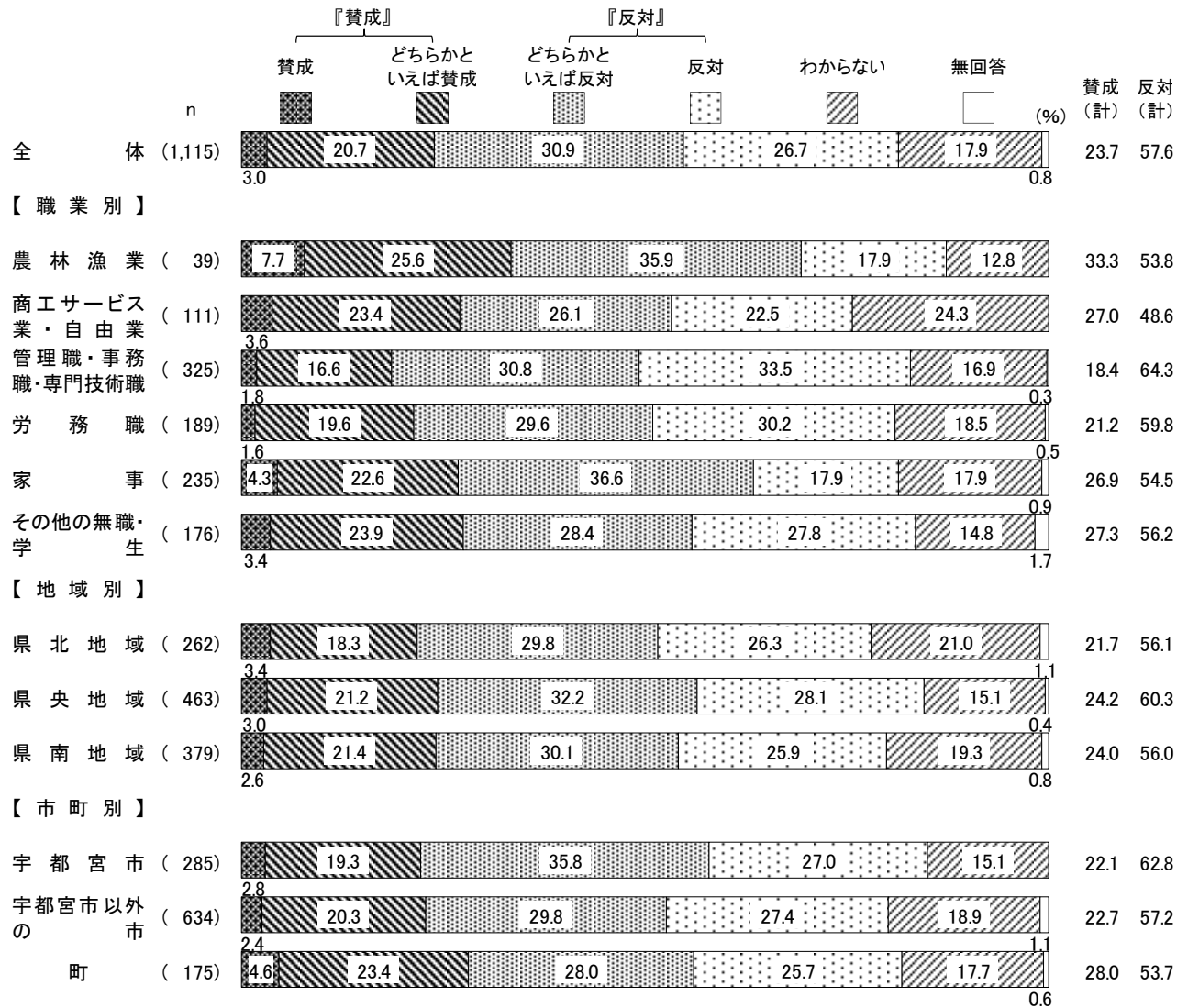
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『賛成』では〈男性〉(27.4%)が〈女性〉(20.7%)より6.7ポイント高くなっている。一方、『反対』では〈女性〉(61.1%)が〈男性〉(54.0%)より7.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『賛成』では〈男性70歳以上〉が39.6%、〈男性60～64歳〉が35.2%と高くなっている。一方、『反対』では〈女性20歳代〉が71.5%、〈女性60～64歳〉が69.7%、〈女性50歳代〉が69.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『賛成』では〈農林漁業〉が33.3%と高くなっている。一方、『反対』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が64.3%と高くなっている。

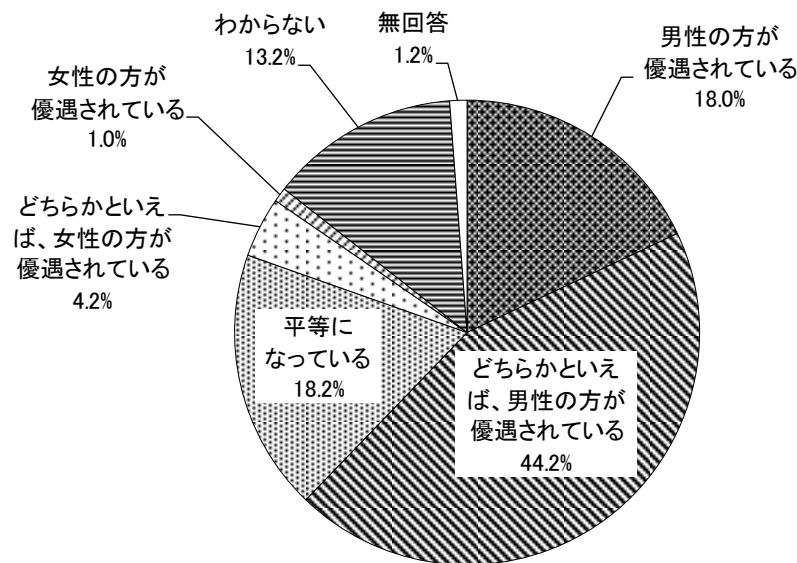
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、『反対』では〈宇都宮市〉が62.8%と高くなっている。

(3) 働く場での男女の地位の平等感

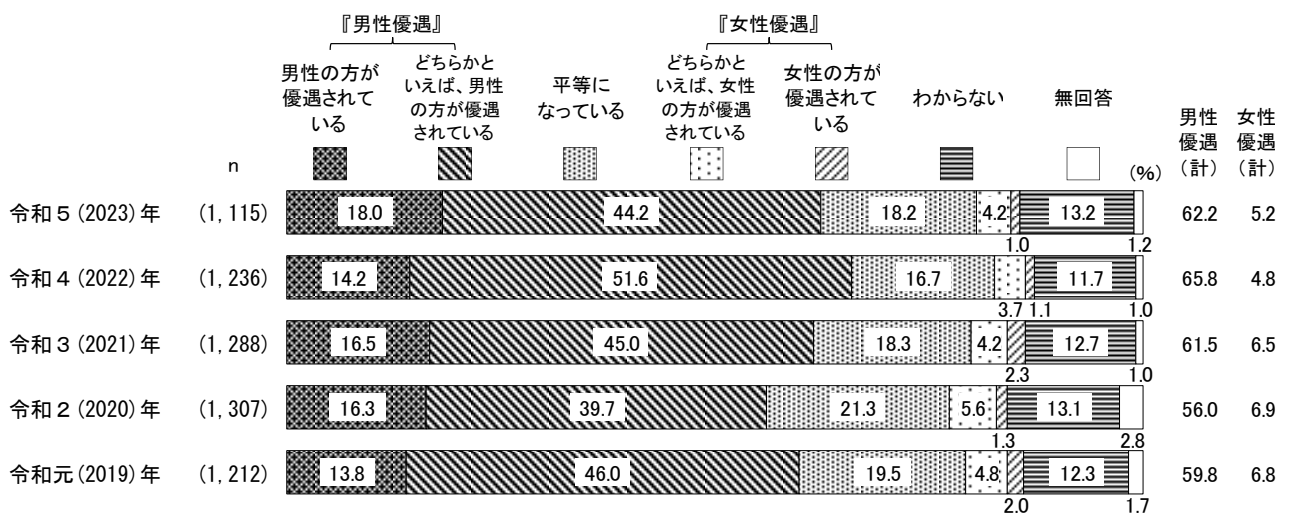
問23 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)
[n=1,115]

1	男性の方が優遇されている	18.0%	5	女性の方が優遇されている	1.0%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	44.2	6	わからない	13.2
3	平等になっている	18.2		(無回答)	1.2
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	4.2			



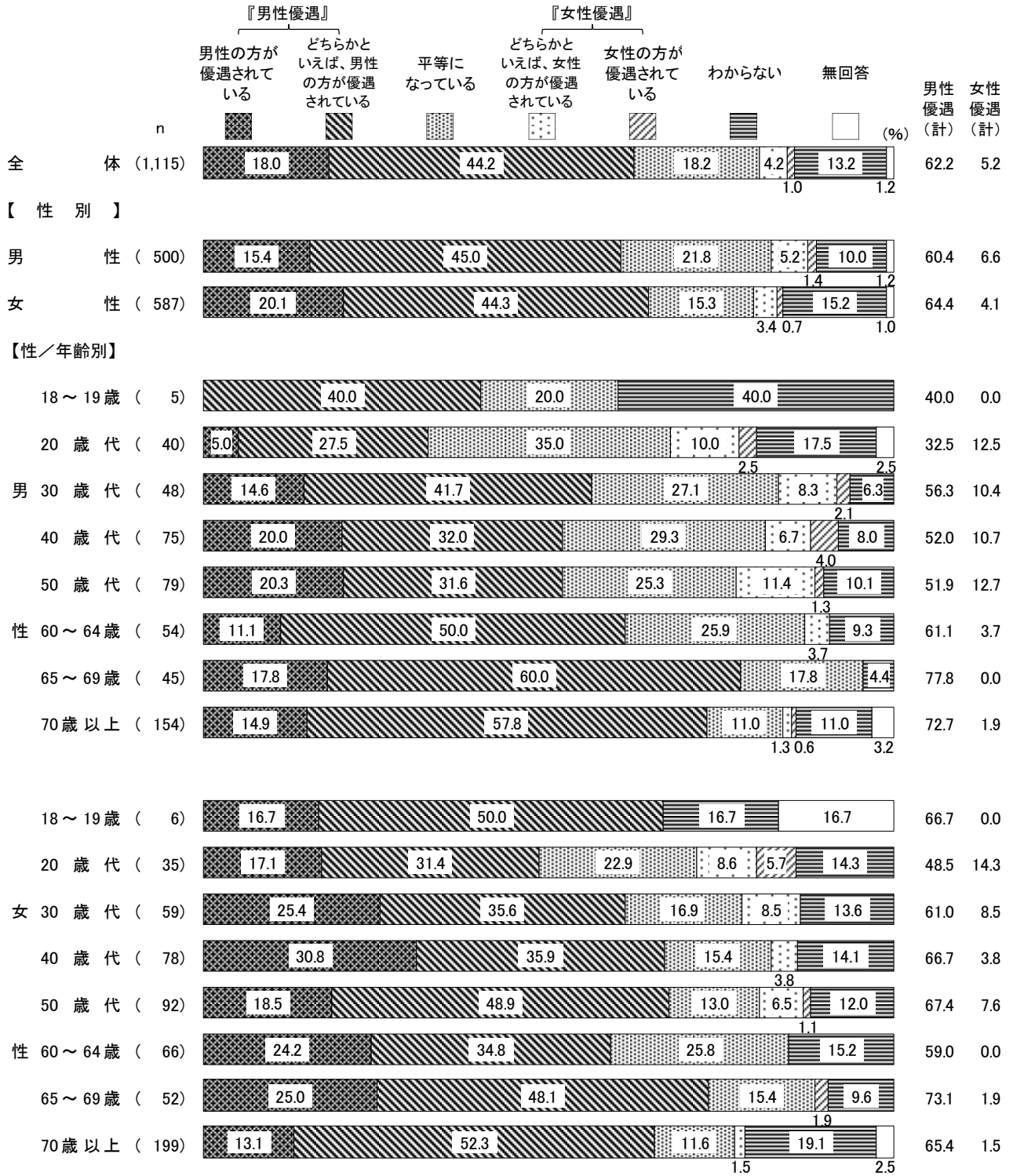
(n=1,115)

全体でみると、「男性の方が優遇されている」(18.0%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(44.2%)の2つを合わせた『男性優遇』(62.2%)が6割強となっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(4.2%)と「女性の方が優遇されている」(1.0%)の2つを合わせた『女性優遇』(5.2%)が1割未満となっている。「平等になっている」(18.2%)は2割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が前回(令和4(2022)年)より3.6ポイント減少している。

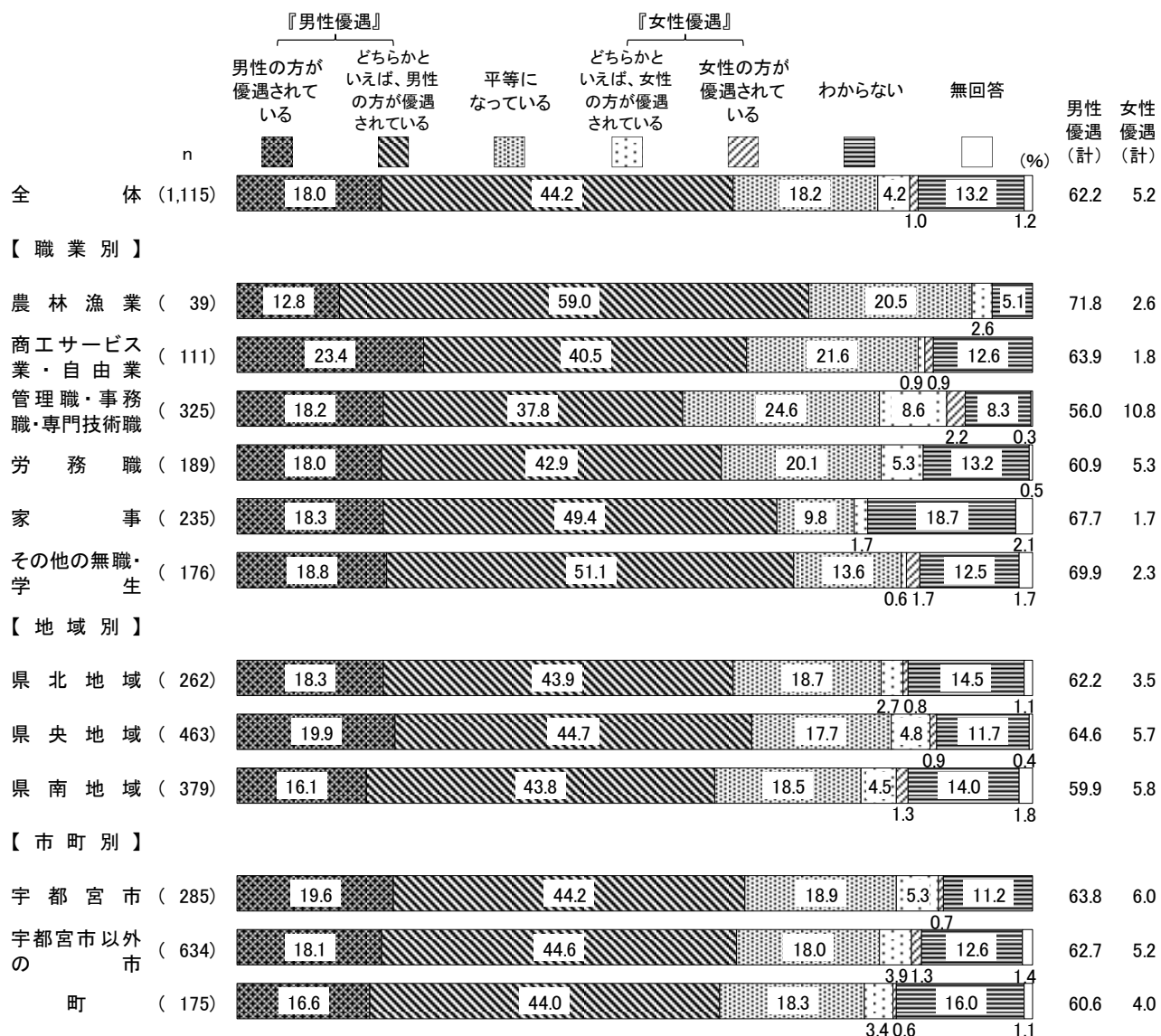
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「平等になっている」では〈男性〉(21.8%)が〈女性〉(15.3%)より6.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『男性優遇』では〈男性65～69歳〉が77.8%、〈女性65～69歳〉が73.1%、〈男性70歳以上〉が72.7%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『男性優遇』では〈農林漁業〉が71.8%、〈その他の無職・学生〉が69.9%、〈家事〉が67.7%と高くなっている。

地域別・市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。